

幌別中学校への通学方法に関する意見交換会

会 議 次 第

日時 令和5年12月20日（水）18時00分

場所 登別中学校 体育館

1. 開会

2. これまでの経緯と統合までの流れについて

3. 資料説明

「幌別中学校への通学方法について」

4. 意見交換

5. 閉会

これまでの経緯と 統合までの流れについて

令和5年12月20日
登別市教育委員会

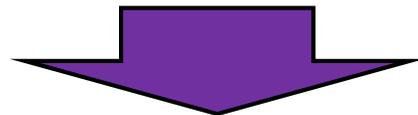
小中学校のランドデザインについて

子どもの数の減少で学校が小規模化

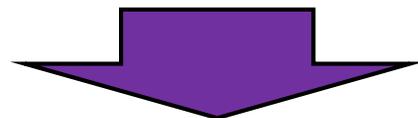


小中学校のランドデザインの策定 (R3.8)

市内の児童・生徒数を推計 (R3～R37)



推計を基に今後35年間の学校配置を検討



今後35年を3つの期間に分け、
各期間における学校統合などを想定

**「登別市小中学校の適正規模と適正配置の指針」
(小中学校のグランドデザイン)**



**「登別中学校」については、
R7年度までに幌別中学校との統合を想定**

※登別小学校は今後も存続

令和3年10月、グラウンドデザイン策定を受けて、
保護者と地域住民有志により地区別検討委員会設置



地区別検討委員会では、

登中の今後のあり方と統合の是非に関し議論



教育環境とまちづくりに関し、
教育委員会が複数の要望に応えることを条件に、
登中と幌中が統合することを容認

教育委員会として、

地域議論を踏まえて登中統合の是非を検討



令和9年4月1日に、

登中と幌中を統合することを決定

(両校の校区を一つにする)

登別中学校の統合に関する方針

- 令和9年4月1日に、幌別中学校と統合（両校の校区を一つにする）。
- 統合までの間、新入生は通常通り登中に入学。
- 教育委員会は（統合に向けて）教育環境、まちづくりの両面で課題等に対応。

①校名／校歌／制服について

統合後の校名、校歌、制服については、両校関係者で組織する新たな委員会で協議。

登別中学校の統合に関する方針

②通学方法・通学手段について

登別中学校区からの通学方法・通学手段については、想定される2つの手法（遠距離通学費補助／スクールバス）のメリット・デメリットを踏まえて、両校関係者で組織する新たな委員会で協議。

③特色ある教育の取扱いについて

現在、登別中学校で取り組まれている特色ある教育の取扱いについては、登別中学校関係者が要望する項目に関し、両校関係者で組織する新たな委員会で協議

登別中学校の統合に関する方針

④ 学校保管資料の取扱いについて

現在の登別中学校が保管する学校資料の取扱いについては、両校の教職員で組織する新たな委員会で協議。

⑤ 学校間の交流事業について

統合に向けた事前交流事業だけでなく、両校の交流事業の実施について検討する。

⑥ 統合時の生徒に対するケアについて

統合時の教員配置など、登別中学校生徒へのケアに関し万全の措置を講じる。

統合までのスケジュール

令和5年度後半～6年度

新たな委員会で基本事項を整理

両校関係者による学校統合委員会で、通学方法や特色ある教育の取扱いなど、統合に係る基本事項を協議。

令和7年度

両校教職員で学校運営の詳細を整理
登中関係者で閉校記念事業の検討

両校教職員による新たな委員会で、教育課程のあり方などを協議。また、登中関係者による実行委員会で、閉校記念事業の内容を検討。

統合までのスケジュール

令和8年度

両校生徒同士の事前交流事業の実施
登別中学校閉校記念事業の実施

1年間を通じて、両校生徒同士の事前交流事業を実施。
また、実行委員会主催により、登別中学校の閉校記念事業を実施。

令和9年4月1日統合

両校統合に向けた現在の取組

令和5年度後半～6年度

新たな委員会で基本事項を整理

両校関係者による学校統合委員会で、通学方法や特色ある教育の取扱いなど、統合に係る基本事項を協議。

令和7年度

両校教職員で学校運営の詳細を整理

登中関係者で閉校記念事業の検討

両校教職員による新たな委員会で、教育課程のあり方などを協議。また、登中関係者による実行委員会で、閉校記念事業の内容を検討。

両校統合に向けた現在の取組

学校統合委員会

(登別中学校関係者による)

登別中学校区検討部会

現登中校区に関連する事項 を協議

- ・ 通学方法／通学手段について
- ・ 特色ある教育のうち残したい取組について

(両校関係者による)

新校区検討部会

新校区に関連する事項を協議

- ・ 校名や制服等の取扱いについて
- ・ 特色ある教育の取扱いについて
- ・ 生徒同士の交流事業について

幌別中学校への通学方法について

令和5年12月20日
登別市教育委員会

通学距離の目安

徒歩や自転車による場合

国が示す目安

- 小学校：おおむね4 km以内
- 中学校：おおむね6 km以内

(文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」)



ただし距離的に実情にそぐわない面が . . .

他市の事例などを踏まえ、

- 小学校：2 km以内
 - 中学校：3 km以内
- をひとつの目安としています。

登別中学校区からの通学距離

- 登別中学校～幌別中学校 7.4 km
- 登別温泉～幌別中学校 11.8 km (大橋経由)
15.0 km (登中経由)
- カルルス～幌別中学校 12.9 km (大橋経由)
20.8 km (登中経由)

幌別中学校との統合により、
全域が「**徒歩通学困難地域**」に



何らかの交通手段を利用しての通学となります

徒歩通学困難地域への対応

①遠距離通学費補助

登下校に公共交通機関を利用し、交通費を教育委員会が補助

②スクールバス・スクールタクシー

教育委員会が徒歩通学困難地域から登下校用スクールバスを運行

③遠距離通学費補助とスクールバスの地域分離型

遠距離通学費補助の地域とスクールバスの地域に分けて運用

①遠距離通学費補助

- 【メリット】**
- 一般的には乗車便に選択の幅があり、利便性が高いと言われる（地方では必ずしもそうとは言えない部分あり）。
 - 公共交通機関の利用により、生徒の成長を促す部分あり。

【デメリット】 ●降車後に徒歩を要し、通学時間が長くなる。

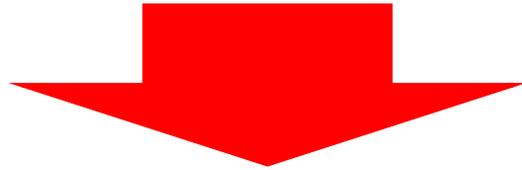
②スクールバス・スクールタクシー

【メリット】 ●学校まで運行され、通学時間の短縮となる。

【デメリット】 ●登下校時間に選択の幅が無い。

① 遠距離通学費補助（公共交通機関利用）

公共交通機関での登下校には条件整理が必要



- 登下校とともに現行ダイヤで対応可能か要確認
- 国が示す通学時間の目安は（公共交通機関利用の場合）概ね1時間以内

※ 現行の遠距離通学費補助は一部補助（自己負担が発生）

 令和7年度より補助制度自体を全額補助にする方向

遠距離通学費補助：運行便の確保（路線バス） 【登校時】

- 登校は8時10分まで（※）
- 利用想定数：約60人（R5.4生徒数59人）
- 利用路線
 - パターン① 温泉～登別駅前～幌別本町～室蘭駅前広場
 - パターン② 温泉～登別駅前～幌小前～室蘭駅前広場
 - パターン③ 温泉～登別駅前～幌小前～若山営業所
- 最寄りバス停
 - パターン① 市役所入口（幌中まで徒歩17分）
 - パターン②及び③ 幌別小学校前（幌中まで徒歩13分）

※幌別中学校の現登校時間。統合時には通学時間などを勘案し調整を行うことが可能。

遠距離通学費補助：運行便の確保（路線バス） 【登校時】

- 最寄りバス停に午前7時50分前後着が必須
- 全校生徒が一斉登校するため2便あることが望ましい

(現行ダイヤ)

パターン①路線	カルルス	登別温泉	登別駅前	市役所入口
	(7:05)	(7:25)	(7:37)	(7:52)
パターン③路線	カルルス	登別温泉	登別駅前	幌別小学校前
	(7:05)	(7:30)	(7:42)	(7:56)

 **現行ダイヤで概ね対応可能**

遠距離通学費補助：運行便の確保（路線バス） 【下校時】

日課	下校時間	下校人数
①通常5時間授業	14：40日課終了／15：00下校	60人
②通常6時間授業	15：40日課終了／16：00下校	20人
③部活動終了後	17：30～18：30（季節で変動※）	40人

※4～9月は18時半まで、10月及び2～3月は18時まで、11～1月は17時半まで

運行時間帯	便数	乗車数
①15：00～16：00	1～2本	60人（通常5時間授業）
②16：00～17：00	1本	20人（通常6時間授業）
③17：30～19：00	1本	40人（部活動終了後）

※特別日課時の下校については、バスダイヤに合わせた下校時間の設定などで対応。

遠距離通学費補助：運行便の確保（路線バス） 【下校時】

① 15：00～16：00	1～2本	60人（通常：5限授業）
② 16：00～17：00	1本	20人（通常：6限授業）
③ 17：30～19：00	1本	40人（通常：部活動終了後）※

①対応【パターン①路線】	市役所入口 (15：09)	～ 登別駅前 (15：28)	～ 登別温泉 (15：50)	～ カルルス なし
②対応【パターン①路線】	(16：39)	(16：58)	(17：20)	なし
③対応【パターン①路線】	(17：59)	(18：18)	(18：41)	(19：15)
【パターン②路線】	幌小前 (19：07)	～ 登別駅前 (19：30)	～ 登別温泉 (19：51)	～ カルルス なし



**登別及び温泉地区は現行ダイヤで概ね対応可能
カルルス地区は対応不可**

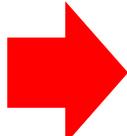
※下校時間については、統合時に微調整を行うことも可能。

遠距離通学費補助：幌中までの通学時間（路線バス）

区 分	幌別中学校
	所要時間（分）
カルルス	64
新登別	60
登別温泉	44
紅葉谷入口	41
中登別	39
ユートピア牧場	38
三愛病院前	37
登別東インター入口	36
汐見坂	34
マリンパーク通り	33
登別駅前	32

区 分	幌別中学校
	所要時間（分）
登別	31
登別中学校前	30
登別小学校前	29
富浦	27
富浦駅前	27
西富浦	24

※市役所入口バス停降車後は徒歩
（バス停～幌中1.3 km／17分）

 **カルルス地区は1時間超**

遠距離通学費補助による対応の可否

- 登下校とともに現行ダイヤで対応可能か要確認

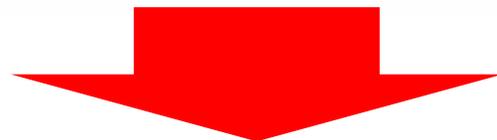
- ☞ 登別地区、温泉地区は概ね対応可能

- ☞ カルルス地区は対応不可

- 国が示す通学時間の目安は概ね 1 時間以内
(公共交通機関利用の場合)

- ☞ 登別地区、温泉地区は 1 時間以内 (対応可能)

- ☞ カルルス地区は 1 時間超 (対応不可)



登別及び温泉地区は対応可能 / カルルス地区は対応不可

参考：運行便の確保（JR） 【登校時】

- 登校は8時10分まで（※）

- 利用路線

JR登別駅⇔JR幌別駅

- その他

幌別駅～幌別中学校：1.5km／20分

登校時：JR幌別駅で降車し幌別中学校まで徒歩

下校時：幌別中学校からJR幌別駅まで徒歩

※幌別中学校の現登校時間。統合時には通学時間などを勘案し調整を行うことが可能。

参考：運行便の確保（JR） **【登校時】**

- JR幌別駅に午前7時45前後着が必須

（現行ダイヤ）



J R 登別駅 (7 : 28)	～	J R 幌別駅 (7 : 36)
J R 登別駅 (7 : 50)	～	J R 幌別駅 (7 : 58)

→ 現行ダイヤで概ね対応可能

参考：運行便の確保（JR）【下校時】

日課	下校時間	下校人数
①通常5時間授業	14：40日課終了／15：00下校	60人
②通常6時間授業	15：40日課終了／16：00下校	20人
③部活動終了後	17：30～18：30（季節で変動※）	40人

※4～9月は18時半まで、10月及び2～3月は18時まで、11～1月は17時半まで

運行時間帯	便数	乗車数
①15：00～16：00	—	60人（通常5時間授業）
②16：00～17：00	—	20人（通常6時間授業）
③17：30～19：00	—	40人（部活動終了後）

※特別日課時の下校については、バスダイヤに合わせた下校時間の設定などで対応。

参考：運行便の確保（JR） 【下校時】

① 15：00～16：00	—	20人（通常：5時間授業）
② 16：00～17：00	—	20人（通常：6時間授業）
③ 17：30～19：00	—	40人（通常：部活動終了後）



① 対応	幌別駅（15：49）	～	登別駅（15：57）
② 対応	幌別駅（16：16）	～	登別駅（16：23）
③ 対応	幌別駅（18：20）	～	登別駅（18：28）
	幌別駅（19：18）	～	登別駅（19：26）

 **現行ダイヤで概ね対応可能**

※下校時間については、統合時に微調整を行うことも可能。

② スクールバス・スクールタクシー

【運行系統】

登別便と**カルルス・温泉便**の二系統で運行

(登別便) 中登別～登別～富浦～幌別中学校

(カルルス・温泉便) カルルス～新登別～登別温泉～幌別中学校

【運行経路】

道南バスの既存バス停を活用し運行

【運行時間】

登下校に合わせ運行（下校時は授業／部活動終了後に各便運行）

【その他】

休日の部活動等に関しては路線バス用の無料パスで対応

スクールバス：幌別中学校までの通学時間

【登別地区】

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
中登別	27
ユートピア牧場	26
三愛病院前	25
登別東インター入口	24
汐見坂	22
マリンパーク通り	19
登別駅前	20
登別	18
登別中学校前	18
登別小学校前	17
富浦	12
富浦駅前	12
西富浦	12

【カルルス・温泉地区】

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
カルルス	36
新登別	32
温泉ターミナル	16
紅葉谷入口	13

※新登別大橋経由。カルルス温泉～新登別～温泉ターミナル～紅葉谷入口～幌別中学校の経路を想定。所要時間は路線バスの時刻表を参考に計算

③ 遠距離通学補助とスクールバスの地域分離型

① 遠距離通学費補助

登下校に公共交通機関を利用し、交通費の全額を教育委員会が補助

② スクールバス・スクールタクシー

教育委員会が徒歩通学困難地域から登下校用スクールバスを運行

登別地区

路線バスのダイヤが
比較的充実

遠距離通学費補助で対応

カルルス・温泉地区

温中統合に続き、
遠隔からの通学に

スクールバスで対応

①と②の併用型の場合：幌別中学校までの通学時間

【登別地区】

(遠距離通学費補助：路線バス利用)

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
中登別	39
ユートピア牧場	38
三愛病院前	37
登別東インター入口	36
汐見坂	34
マリンパーク通り	33
登別駅前	32
登別	31
登別中学校前	30
登別小学校前	29
富浦	27
富浦駅前	27
西富浦	24

【カルルス・温泉地区】

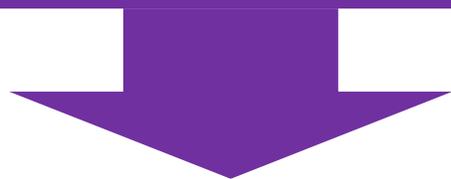
(スクールバス・タクシー利用)

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
カルルス	36
新登別	32
温泉ターミナル	16
紅葉谷入口	13

統合時の通学方法をどうするか？

登別及び温泉地区  いずれの方法でも対応可

カルルス地区  遠距離通学費補助での対応不可

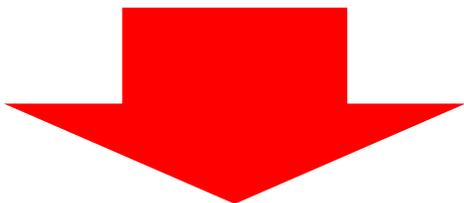


登別地区・温泉地区

条件面ではいずれでも対応可

カルルス地区

スクールタクシーを運行



保護者の声も踏まえ、
教育委員会でより良い方法を判断